※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ（理）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　数学Ｃ」　（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の授業にしっかりと理解し、復習をメインにして傍用問題集でより深い理解をめざそう。「継続は力なり」です。**２年次は、数学Ｂ、数学Ｃ週３コマの授業で、１学期は数学Ｃの「ベクトル」、２，３学期は数学Ｂの「数列」、「統計的な推測」の内容を扱います。**３年次は数学Ｃの「平面上の曲線と複素数平面」を扱います。頑張りましょう。

２　学習の到達目標

(1)　ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)　大きさと向きを持った量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解すること。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりするための技能を身に着ける。	「ベクトル」の学習では、大きさと向きを持った量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できるようにする。「平面上の曲線と複素数平面」の学習では，図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察できるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ベクトル	平面上のベクトル 空間のベクトル	a: ベクトルの意味、和、差、実数倍、成分表示について理解しているか。ベクトルの内積の性質を理解しているか。 b:ベクトルや内積の基本的な性質を用いて、図形の性質を多面的に考察できるか。 c: ベクトルに興味をもち，それを活用しようとする意欲があるか。	定期 考査	定期 考査 提出 ノート ワーク シート等	観察 提出 ノート 振り返り シート 発表等
2年次　2学期、3学期は数学B、数学Cの計3コマで、数学Bの「数列」、「統計的な推測」を扱う。						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度